

あいさつ

本日、第73回「社会を明るくする運動」宮古保護区車両出発式に当たり、大会推進委員長の座喜味宮古島市長をはじめ、数多くの皆様の御臨席をたまわり、また、平素から犯罪や非行のない明るい社会づくりに御理解・御協力いただいておりますことに対しまして、まずもって厚く御礼申し上げます。

法務省が主唱するこの“社会を明るくする運動”は、犯罪や非行のない明るい社会の実現を目指して、昭和26年から全国的に展開しているもので、お陰様で、今年で73回目を迎えることができました。

本運動の具体的趣旨につきましては、先程伝達させていただきました「内閣総理大臣メッセージ」でも触れられておりますが、本年度のキャッチフレーズは
「生きづらさを生きていく」
です。

罪を犯した人は、それぞれ「生きづらさ」を抱えており、社会の中で立ち直るためには地域での御理解や御協力が必要となります。是非、この運動を通して、更生保護制度の理念やその必要性を地域の皆様に広めていただければと思っております。

昼下がりの現在、大変暑くなっております。熱中症と、感染症に御留意の上、皆様それぞれのお立場から、活動を行っていただきたく、私からのあいさつとさせていただきます。

令和5年7月7日

那覇保護観察所長 岡田和也